



ID: 1347

科目名	卒業研究指導※(後半)【26年度生用】			コード			
英語表記	Graduation Thesis						
担当教員名	建築システム専攻専任教員			年度	平成26年度		
基準年次	4年次	開講期	後期	単位数	4		
授業形態	演習	授業形式	面前	履修形態	必修		
授業概要							
卒業論文は4年間の専門領域の学習の総仕上げの必修科目で、論文と設計に分かれている。いずれを選択する場合も、自分の責任と意志により完成させることが求められる。担当教員は、学生を積極的に受け入れ系統的な研究指導を行い、3年次の前期に説明会や募集が行われる。学生は全員が担当者教員の研究室に所属し、論文あるいは設計を行う。							
到達目標							
随時各担当教員から問題解決に向けての指導や助言を受け、また中間発表会において全教員から指摘を受け、最終の試問会を合格しなければならない。							
授業計画							
第1回	補足、追加の調査を行う						
第2回	調査の内容を整理する						
第3回	調査結果の概要をまとめる						
第4回	「第二回発表会」用の原稿を作成する						
第5回	研究の進展状態を「第二回発表会」で発表し、疑問意見を受け、参考にする						
第6回	意見・批判・疑問に対応する検討を行い再考する						
第7回	再考した結果に基づき、必要な追加調査等を行う						
第8回	前回の調査結果の概要を見直し、まとめる						
第9回	卒業研究論文全体の流れを概観する						
第10回	全体の流れを念頭に、卒業研究論文を記述する						
第11回	作成した卒業研究論文の推敲、手直しを行う						
第12回	論文タイトル・内容の構成・体裁・など細部の整備						
第13回	指導教員の下見						
第14回	プレゼンテーション レジメと説明用の解説を準備						
第15回	諮問会で研究成果を発表し評価を受ける						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
以下の各点に関して指導教員を中心とした学科全教員が評価採点する。1.最終完成品である研究論文あるいは設計作品、および研究概要書 2.中間発表会と最終試問会の発表内容、および質疑応答 3.日頃の研究態度(実験、調査、資料収集、ゼミ発言、その他)とそれを実証できる記録			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			20	20	20	40	
授業外学習			テキスト、教材				
			担当教員の指導による。				
参考書			受講生へのメッセージ				
各研究室による課題に関して指導する。			1, 2年次の基礎ゼミⅠ、Ⅱ、ⅢおよびⅣと情報処理演習Ⅰ、Ⅱは、卒業論文の研究進行上の基礎的素養と研究手段・研究方法の基本的な役割を演じるのでその学習態度や修得の達成度が研究の進捗に重要であるので十分に留意すること。(1)各研究室でのゼミ・実験・演習等については担当教員の指示によること。(2)中間発表と最終試問会の発表を必ず行う。(3)設計・制作を選択するには、建築設計Ⅰ、建築設計Ⅱ、建築設計CAD、建築設計Ⅲ、建築設計Ⅳを履修しておくことが必須である。				
キーワード							
卒業論文・専門演習・専門論文・学位論文・卒業制作							